

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肺癌に対する術前化学放射線療法の治療成績の調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 山田和成 (放射線治療科 医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2023年11月27日～2024年3月31日

肺癌が少し進行し、病変に接する組織や近くのリンパ節まで及んでいた場合、事前に放射線+抗がん剤の併用治療を実施してから手術を行うことがあります。そのような治療の当院での成績を明らかにするため、カルテ等から以下の情報を調べ、2022年12月時点までの成績(生存率、再発率、副作用の発生状況等)について統計的に解析します。作業は2024年3月末頃までに完了する見込みで、解析結果は学術集会や論文で発表する予定です。

■ 対象となる患者さん

肺がん(非小細胞肺癌)の手術前の治療として、当院で2006年12月～2021年12月に放射線と抗がん剤の同時治療を開始された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の臨床情報を診療録および放射線治療科内のデータベース等から取得します。

- ① 臨床所見 (年齢、性別、診断名、臨床病期)
- ② 病理学的所見 (術前精査での組織診断)
- ③ 治療 (導入化学療法(使用薬剤など)、放射線治療(総線量/回数、肺の照射線量など)、手術の術式・入院日数、各治療の開始日/終了日など)
- ④ 治療反応性(手術検体の病理所見など)・予後(転帰、再発の有無・形式、治療関連有害事象の有無および各イベントの発生/確認日など)

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

山田和成 (放射線治療科 医師)

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971